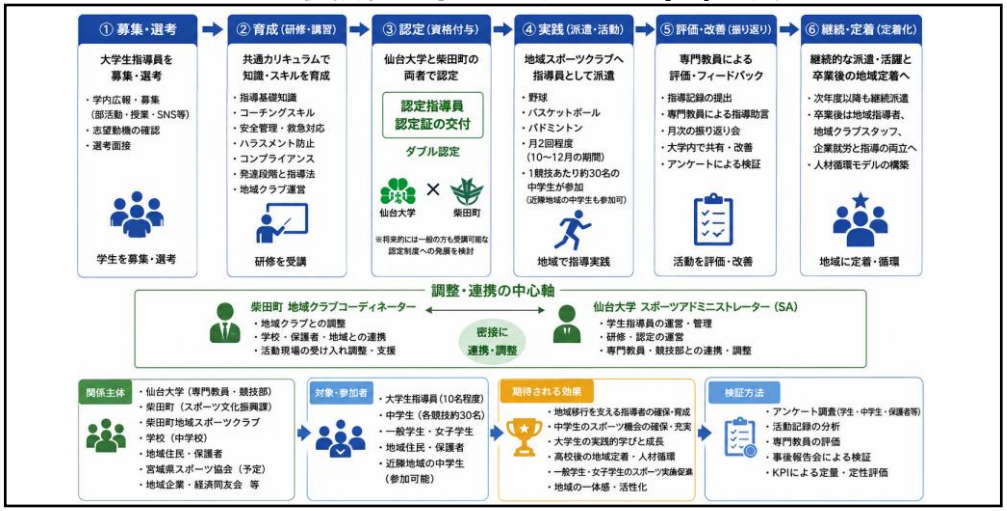
「令和8年度 大学スポーツ総合支援事業」企画提案書（事業概要資料）

②大学生指導員の養成・確保に関する実証事業［指導者派遣型］

大学名	仙台大学

実施計画名	大学スポーツ資源を活用した地域スポーツ認定指導員育成・派遣モデル事業～柴田町地域スポーツクラブと連携した地域移行支援の実証～
事業概要	本事業は、柴田町が推進する中学校部活動の地域移行に対応し、仙台大学と柴田町が連携して大学生指導員の育成・派遣を行う実証事業である。柴田町では地域スポーツクラブを中心とした休日部活動の地域展開を進めているが、継続的な指導者確保・育成が課題となっている。本事業では、仙台大学が有する競技専門教員、競技部活動、体育施設等のスポーツ資源を活用し、野球、バスケットボール、バドミントンの3競技を対象に大学生指導員を養成する。学生は事前研修を受講後、「仙台大学・柴田町認定地域スポーツ指導員（仮称）」として認定を受け、地域スポーツクラブへ派遣される。また、各競技の専門教員による監修・フィードバックを通じて指導の質保証を図る。さらに、本学の学生主体イベント「DANDANDACE」と連携し、一般学生や女子学生、地域住民のスポーツ参加機会を創出することで、大学スポーツ資源の地域還元と地域スポーツ人材循環モデルの構築を目指す。

■大学生指導員の養成・確保に当たっての仕組みやフロー



■主な参加者・想定人数

区分	内容	人数
研修受講者（学内）	仙台大学（野球部・バスケ部・バド部）	15名
認定指導員	仙台大学学生指導員	15名
指導対象者	柴田町地域スポーツクラブ参加中学生	100名
自治体関係者	柴田町スポーツ文化振興課・地域クラブコーディネーター	3名
協力団体関係者	専門教員・関係競技団体・地域スポーツクラブ関係者	10名

■実証事業の検証・評価方法

●定量評価
- 認定指導員登録者数
- 活動回数（派遣回数）
- 地域クラブ参加中学生数
- 参加者（生徒／保護者）の満足度

●定性評価
- 認定指導員の成長実感及び自己評価
- 地域クラブコーディネーター及び自治体担当者による評価
- 専門教員による指導内容の振り返り及び改善提案
- 事業成果及び課題を大学
- 自治体間で共有し次年度へ反映

■事業の実施体制図（学内体制に留まらず、地域の組織・団体との連携体制も示すこと）

